

IPコラボレーションの枠を超えた共創へ。
サンリオピューロランドのインクルーシブ・エンターテイメントを次のステージへ
誰もが楽しめるテーマパークづくりに向けて
ヘラルボニーとプロジェクトを始動
～来春の実装を見据えて、3月21日（土）にパレード体験トライアルを実施～

株式会社サンリオエンターテイメント（本社：東京都多摩市、代表取締役社長：小巻亜矢）が運営するサンリオピューロランド（以下、ピューロランド）は、福祉を起点に新たな文化の創出を目指す株式会社ヘラルボニー（本社：岩手県盛岡市、代表取締役 Co-CEO：松田 崇弥、松田 文登、以下「ヘラルボニー」）と、誰もが安心して楽しめるテーマパークを目指した共創プロジェクトを始動いたします。来春の実装を見据えて、3月21日（土）に、障害のある方に実際にピューロランドへお越しいただいた体験トライアルの様子もお届けいたします。



近年、誰もが安心して楽しめる環境づくりへの関心が高まる一方、テーマパークやエンターテインメント施設におけるアクセシビリティ対応は、まだ十分とは言えない状況にあります。そんな中、サンリオエンターテイメントでは、「みんななかよく」の理念のもと、「誰もが楽しめるテーマパーク」の実現を目指しております。

■ヘラルボニーとの共創プロジェクト始動の背景

昨年10月にヘラルボニーらと共に、インクルーシブパーク体験イベント『Harmony for the Future -みんなで未来のためにできること-』をサンリオキャラクターパーク ハーモニーランド（大分県日出町、以下「ハーモニーランド」）で開催。ハーモニーランド初となる、ろう者や、視覚、身体、知的障害のある方にもパレードを体感していただけるツアーなどを行い「インクルーシブ・エンターテイメント」の実現を目指してまいりました。

ピューロランドではすでに、アトラクションの長時間の待機が困難な方に向けた「ハートフルサービス」の提供や、セリフを使わないノンバーバルなショー「びよんわあ～beyond words～」を展開しており、「インクルーシブ・エンターテイメント」を推進してきました。そうした中、このハーモニーランドでの取り組みにて、「障害のある方が同じように楽しめる」ことを実現した成功体験を基に、この度、ピューロランドにおいても「インクルーシブ・エンターテイメント」の提供を次のステージへ引き上げるため、ヘラルボニーとの共創プロジェクトを始動いたしました。IPコラボレーションの枠を超え、障害のある当事者クリエイターや専門家とともに、実装可能性を重視したインクルーシブデザインを推進していきます。

本取り組みは、来春の実装を見据えて、継続的に検証と改善を重ねていく予定です。今後もトライアルを実施しながら、より多くの方が安心して楽しめるテーマパーク体験の実現を目指してまいります。

<本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先>

サンリオピューロランド 広報
info@puroland.jp
公式SNS：@purolandjp

サンリオピューロランド公式webサイト<<https://www.puroland.jp/>>

【3月21日（土）パレード体験トライアルレポート】

障害のある方も楽しめるパレード鑑賞環境を目指して サンリオピューロランドでインクルーシブパレード体験のトライアルを実施

サンリオピューロランドで、2026年3月21日（土）に、障害のある方を対象としたパレード体験トライアルを実施。当日は、ろう者や、視覚、身体、知的障害のある方をモニターとしてお招きし、実際のパレード鑑賞体験を通じて、アクセシビリティ向上に向けた取り組みの検証を行いました。

パレード鑑賞前には、登場キャラクターやストーリー、演出の見どころなどをスタッフが紹介。視覚障害のある方にも内容をイメージしていただけるよう、キャラクターのぬいぐるみに触れていただきながら説明を行うなど、理解を深めるための工夫を取り入れました。また、パレード鑑賞時には、字幕・手話演出ガイドや音声ガイドなどの情報保障ツールを活用し、障害の特性に合わせたサポートを提供しました。

その後、ピューロビレッジへ移動し、パレードを鑑賞。キャラクターたちが登場するたびに笑顔を見せる参加者の様子や、家族とともにショーを楽しむ姿も見られ、会場は温かな雰囲気になっていました。

パレード終了後にはフィードバック会を実施し、参加者一人ひとりから体験の感想や改善点について意見を伺いました。実際に体験した当事者の声をもとに、今後の取り組みの改善と発展につなげてまいります。

<フィードバック内容>

- ・事前にパレードの内容やキャラクター説明などがあったことで、心構えと行動予定を立てることができ、安心してパレードを鑑賞することができた。約25分間のパレードを鑑賞できるか不安でしたが、最後まで鑑賞できて嬉しかった。
- ・今回のトライアルを通して、来場のハードルが少し下がった。車いすでの移動の際に、通路の幅の制限や案内表示の位置が高く見えづらいなどの課題を感じた。
- ・字幕・手話演出ガイドの情報保障ツールがあることで、パレードの内容を理解することができ、周りのゲストと一体となって楽しむことができた。キャラクターやライブエンターテイナーのダンスや笑顔に引き込まれ、手話演出ガイドとパレードを並行してみるのが難しかったので、字幕のみなど必要な情報を選択できると更によくなるのではと感じた。



ハローキティがヘラルボニーアートとコラボしたオリジナルグッズを販売

2025年にハーモニールランドで展開していた、ヘラルボニー契約作家fuco:さんによる作品「ドチラカラデモ」を起用した、ハローキティとヘラルボニーのコラボレーションによるオリジナルアートグッズを、ピューロランドでも販売します。色彩豊かなアートとキャラクターの魅力を掛け合わせたデザインが特徴で、Tシャツやステッカー、缶バッジなどのアイテムをラインアップし、アートの魅力を身近に楽しめる商品として展開します。



Tシャツ(正面プリント)
4,400円 (税込)



Tシャツ(バックプリント)
4,400円 (税込)



缶バッジ
550円 (税込)



ステッカー
440円 (税込)

株式会社ヘラルボニーについて

「異彩を、放て。」をミッションに、障害のイメージ変容と福祉を起点に新たな文化の創出を目指すクリエイティブカンパニー。障害のある作家が描く2,000点以上のアート作品をIPライセンスとして管理し、正当なロイヤリティを支払うことで持続可能なビジネスモデルを構築。自社ブランド「HERALBONY」の運営をはじめ、企業との共創やクリエイティブを通じた企画・プロデュース、社員研修プログラムを提供するほか、国際アートアワード「HERALBONY Art Prize」の主催など、アートを軸に多角的な事業を展開しています。2024年7月より海外初の子会社としてフランス・パリに「HERALBONY EUROPE」を設立。

会社名：株式会社ヘラルボニー / HERALBONY Co.,Ltd.

所在地：〒020-0026岩手県盛岡市開運橋通2-38（本社）、〒104-0061 東京都中央区銀座2丁目5-16 銀富ビル3F受付（東京拠点）

代表者：松田 崇弥、松田 文登

コーポレートサイト：<https://www.heraltbony.jp>

オンラインストア：<https://store.heraltbony.jp/>

株式会社サンリオエンターテイメントについて

サンリオピューロランドとサンリオキャラクターパーク ハーモニーランドの2つのテーマパークを運営し、「みんななかよく」の企業理念のもと、コミュニケーションの楽しさや喜びを発信しています。従来の「テーマパーク運営」だけでなく、リアルな接点を中心とした「圧倒的な体験価値を創出するエンターテインメントラボ」としてのコンテンツを開発し、新たな価値を提供し続けています。2025年12月には“世界でいちばんやさしい場所”を目指して、ハーモニーランドの「エンタメリゾート化」を始動しました。

会社名：株式会社サンリオエンターテイメント

所在地：東京都多摩市落合1-31

代表者：小巻亜矢

サンリオピューロランド公式HP：<https://www.puroland.jp/>

コーポレートサイト：<https://www.sanrio-entertainment.co.jp/>

参考情報



Harmony for the Future

-みんなで未来のためにできること-

HELLO KITTY © 2025 SANRIO CO., LTD.

2025年10月19日（日）に大分県日出町にあるサンリオキャラクターパーク ハーモニーランドにて、ヘラルボニーらとともにインクルーシブパーク体験イベント『Harmony for the Future -みんなで未来のためにできること-』を開催。フェスティバルステージのトークセッションでは、ステージでの手話通訳に加え、公式Youtubeアカウントにてリアルタイム字幕付きライブ配信を行いました。さらに、ハーモニーランド初となる、ろう者や、視覚、身体、知的障害のある方にもパレードを体感していただけるツアーも実施しました。

※画像素材ご掲載の際は、必ずコピーライトの記載をお願いいたします。

© 2026 SANRIO CO., LTD. TOKYO, JAPAN 著作 株式会社サンリオ

※画像はイメージです。 ※価格は全て税込です。

※本リリースの掲載内容は画像を含め、3月24日（火）現在の情報です。内容は変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

© 2026 SANRIO CO., LTD. TOKYO, JAPAN 著作 株式会社サンリオ